



様式1

領収書等添付一覧表

(令和2(2020)年度)

支出項目	調査研究費			
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額	備考
1-1	R2.12.3	12/2~3福島第一原子力発電所・東日本大震災原子力災害伝承館 視察	56,802円	ホテルサンルートいわき駅前他4件
1-2				
1-3				
1-4				
1-5				
1-6				
1-7				
1-8				
1-9				
1-10				
1-11				
1-12				
1-13				
1-14				
1-15				
計			56,802円	

※支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

会派長	経理責任者
	

政務活動費

令和2年12月7日

氏名 相澤 宗一
佐藤 和典
近藤 由香里



政務活動経費請求書 (精算書)

政務活動経費について、次の通り請求 (精算) します。

月 日	項 目	金 額	備 考
12月2日	交通費	5,240	高速道路通行料・西山～いわき中央
	交通費	500	ホテルサンルートいわき駅前 立体駐車場代
	自動車燃料費	2,132	セキショウカーライフ株式会社 いわき好間店
	旅費	21,900	ホテルサンルートいわき駅前(1泊 朝食付) 7,300円×3
	夕食代	9,000	3,000円×3名
	旅費雑費	4,500	1,500円×3名
12月3日	交通費	4,950	高速道路通行料・いわき四倉～広野460 円、船引三春～柏崎4,490円
	自動車燃料費	2,280	(株)にいがたエネルギー Dr. Driveセルフ柏崎店
	視察受入等負担金	1,800	東日本大震災・原子力災害伝承 館入館料
	旅費雑費	4,500	1,500円×3名
合 計		56,802	
概算(仮)払額			
差引	(請求額)	56,802	
	(返還額)	0	
備考			

支 出 項 目	<input checked="" type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 2 研修費 <input type="checkbox"/> 3 広報費 <input type="checkbox"/> 4 広聴費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 6 会議費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費 <input type="checkbox"/> 9 人件費 <input type="checkbox"/> 10 事務所	整理番号 (項目別)
		1 - 1

領 収 書 等 整 理 票

会派名 民友


整理番号 1 - 1 - 1

支 出 項 目		※該当する項目に○印	
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	X	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

ご利用ありがとうございます。

利 用 証 明 書



料金所(自) 西山
料金所(至) いわき中央

20年12月 2日
15時39分

通行料金 ¥5,240-
(ETC/レゾナ)

車種 5

取扱番号
A31012-024658-478327

※通行料金は消費税率10%対象です。
※本利用証明書はETC利用照会サービ
スで印字されたものです。

領 収 書

No.000123210 HOST 20/12/02 16:13
[途中精算]

部屋No. 804

ご利用期間 2020/12/02~2020/12/03
ご利用日 2020/12/02

民友 様

ご請求額 500円

上記金額を領収致しました

ホテルルートインいわき駅前

福島県いわき市平四町目22-3
TEL 0246-35-6101
FAX 0246-21-5331

印紙税申告納
付につき品川
税務署承認済

ルートインジャパン株式会社
作成地：東京都品川区大井1-35-3

◆ご利用明細◆

ご請求額 500円

立体駐車場 500円
(内消費税 45円)
10%税込 対象合計 500円

ご入金額 500円(現金)

領 収 書 等 整 理 票

会派名 民友

整理番号 1 - 1 - 2

支出項目		※該当する項目に○印	
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	X	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 書

No.000123209 HGST 20/12/02 16:11
[チェックイン]

部屋No. 804

ご利用期間 2020/12/02~2020/12/03
ご利用日 2020/12/02

近藤 由香里 様

ご請求額 7,300円

上記金額を領収致しました

ホテルルートインいわき駅前

福島県いわき市平四町目22-3
TEL 0246-35-6101
FAX 0246-21-5331

印紙税申告納
付につき品川
税務署承認済

ルートインジャパン株式会社
作成地：東京都品川区大井1-35-3

◆ご利用明細◆

ご請求額 7,300円

室料(1泊分) 7,300円
(内消費税 663円)
10%税込 対象合計 7,300円

ご入金額 7,300円(現金)



納品書(領収書)

ガソリン税にも消費税が課税されて
います。

2020年12月02日 15:54

売上
大切なお客様M
3500-00000-0000

現金フリー

車両番号 実車番
0026-00

ENEOSレギュラー P-01
15.79L

* ¥2,132

合計 ¥2,132

(消費税10%対象 ¥2,132)

内消費税等 ¥194)

お預り ¥10,000

お釣り ¥7,868

現金でお支払いの際は、
領収書に控えさせていただきます。

セキショウカーライフ株式会社

いわき好間店

福島県 いわき市

好間町下好間鬼越86-1

TEL:0246-85-0401 SS-250444

レシートNo 7573-01 デ-5No9021-9022

099好間店 2020/12/02

領 収 書 等 整 理 票

会派名 民友

整理番号 1 - 1 - 3

支 出 項 目		※該当する項目に○印	
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	X	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 書

No.000123207 HOST 20/12/02 16:10
[チェックイン]

部屋No. 803

ご利用期間 2020/12/02~2020/12/03
ご利用日 2020/12/02

相澤 宗一 様

ご請求額 7,300円

上記金額を領収致しました

ホテルルートインいわき駅前

福島県いわき市平四町目22-3
TEL 0246-35-6101
FAX 0246-21-5331

印紙税申告納
付につき品川
税務署承認済

ルートインジャパン株式会社
作成地：東京都品川区大井1-35-3

◆ご利用明細◆

ご請求額 7,300円

室料(1泊分) 7,300円
(内消費税 663円)
10%税込 対象合計 7,300円

ご入金額 7,300円(UC)

領 収 書

No.000123208 HOST 20/12/02 16:17
[チェックイン]

部屋No. 807

ご利用期間 2020/12/02~2020/12/03
ご利用日 2020/12/02

佐藤 和典 様

ご請求額 7,300円

上記金額を領収致しました

ホテルルートインいわき駅前

福島県いわき市平四町目22-3
TEL 0246-35-6101
FAX 0246-21-5331

印紙税申告納
付につき品川
税務署承認済

ルートインジャパン株式会社
作成地：東京都品川区大井1-35-3

◆ご利用明細◆

ご請求額 7,300円

室料(1泊分) 7,300円
(内消費税 663円)
10%税込 対象合計 7,300円

ご入金額 7,300円(NICOS)

領 収 書 等 整 理 票

会派名 民友

整理番号 1 - 1 - 4

支出項目		※該当する項目に○印	
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	X	

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

<p>ご利用ありがとうございます。 利用証明書</p>  <p>料金所(自) いわき四倉 料金所(至) 広野</p> <p>20年12月 3日 8時20分</p> <hr/> <p>通行料金 ¥460- (ETCクレジット)</p> <p>車種 5</p> <p>取扱番号 A02012-037161-625417</p> <p><small>※通行料金は消費税率10%対象です。 ※本利用証明書はETC利用照会サービスで印字されたものです。</small></p>	<p>ご利用ありがとうございます。 利用証明書</p>  <p>料金所(自) 船引三春 料金所(至) 柏崎</p> <p>20年12月 3日 19時41分</p> <hr/> <p>通行料金 ¥4,490- (ETCクレジット)</p> <p>車種 5</p> <p>取扱番号 A02012-037675-101517</p> <p><small>※通行料金は消費税率10%対象です。 ※本利用証明書はETC利用照会サービスで印字されたものです。</small></p>
--	--

EneJet

納品書(領収書)

2020年12月03日 19:49

売上 様 M
6-470129-49994-000
現金フリー
0026-00
レギュラー P-07
19.00L *
120円 ¥2,280
合計 ¥2,280
(消費税10%対象 ¥2,280
内消費税等 ¥207)
お預り ¥10,000
お釣り ¥7,720

現金でお買上げの場合は領収書に控えさせていただきます。

(株) にいがたエネルギー
Dr. Driveセルフ柏崎店
新潟県柏崎市東長浜町1-1
TEL:0257-23-4557 SS-470129
レシートNo 7317-03 〒5No4373-4374
099- 2020/12/03

2020年12月 3日(木)

領 収 証 様
民 友

¥1,800-



(¥163-を含みます)

上記正に領収しました(消費税等
東日本大震災・原子力災害伝承館
福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39
電話 0240-23-4402

※保管上のお願
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。




0002-0436-3425

理計 (消費税等) ¥1,800 ¥163
2020年12月 3日(木) 13:42 No:0002
000000001001
0001入館一般個人
車600x3個 内 ¥1,800
小計 ¥1,800
10%内税対象額 10.00% ¥163
内税10% 10.00% ¥163
合計 ¥1,800
(内消費税等 ¥163)

会派長	経理責任者
	

政務活動費

2020年11月17日

氏名 民友
 相澤 宗一 
 佐藤 和典 
 近藤 由香里 

政務活動申出書

次のとおり申出します。

種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 (<input type="checkbox"/> 行政視察) <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議	
期 間	令和2年12月2日(水) ~ 令和2年12月3日(木)	
用 務	1	福島第一原子力発電所
	2	東日本大震災 原子力災害 伝承館
	3	
	4	
出 張 先	1	福島県双葉郡大熊町
	2	福島県双葉郡双葉町
	3	
	4	
調 査 又 は 要 望 項 目	1	処理水の性質および処分方法について
	2	複合災害の記録や教訓について
	3	
	4	
※研修会、各種会議は記入不要		
そ の 他	施設間移動に公共交通を使うのが困難であることから、自家用車を使用させていただきたい。	

- 添付書類
- ・ 調査研究 (行政視察含む)、陳情・要請活動の場合は行程表等
 - ・ 研修会、各種会議等参加の場合は、内容がわかる書類等 (写し)

様式3-2

1 主な行程

月 日	発着地	視察地	用務	宿泊地	備考
12/2	柏崎市役所 発 いわき市 着		前泊	いわき市内	自家用車
12/3	いわき市 発 双葉郡 着	大熊町 双葉町	・福島第一発電所 ・東日本大震災 原子力災害伝承館		自家用車
12/3	双葉郡 発 柏崎市役所 着				自家用車
/					
/					
/					

前泊必要 (理由: 12/3午前中から視察を行う為)

後泊必要 (理由:)

2 必要経費

・ 円× 人
 ・ 円× 人
 ・

民友 福島視察行程表（予定）

12月2日（水）

- 11:00 柏崎市役所 出発
11:10 柏崎IC（北陸自動車道）
12:30 新潟中央JCT（磐越自動車道）
（途中SAで昼食、休憩）
16:30 いわきJCT（常磐自動車道）
16:50 いわき中央IC
17:00 いわき市内ホテル

12月3日（木）

- 7:30 ホテル出発
9:00～ 福島第一発電所（大熊町）
12:40
（昼食・移動）
14:00～ 東日本大震災 原子力災害 伝承館（双葉町）
15:00
15:30 船引美春IC（磐越自動車道）
18:30 新潟中央IC（北陸自動車道）
19:50 柏崎IC
20:00 柏崎市役所

会派長


政務活動費

令和2年12月7日

民友
 氏名 相澤 宗一
 佐藤 和典
 近藤 由香里



政務活動報告書

次のとおり報告します。

種 別	■調査研究 (□行政視察) □研修会 □要請・陳情 □各種会議	
期 間	令和2年12月3日 (木) ~ 令和2年12月3日 (木)	
1	日 時	12月3日 (木) 9:00 ~ 12月3日 (木) 12:00
	用 務	福島第一原子力発電所
	出張先	福島県双葉郡大熊町
	調査又は 要望項目 (※)	処理水の性質および処分方法について
	対応者 (※)	福島第一原子力発電所長 XXXXXXXXXX 氏 福島第一廃炉推進カンパニー視察コミュニケーショングループ XXXXXXXXXX 氏
	報 告	別紙のとおり
2	日 時	12月3日 (木) 14:00 ~ 12月3日 (木) 15:00
	用 務	東日本大震災 原子力災害 伝承館
	出張先	福島県双葉郡双葉町
	調査又は 要望項目 (※)	複合災害の記録や教訓について
	対応者 (※)	
	報 告	別紙のとおり

※研修会、各種会議は記入不要

出張報告

報告日 令和2年12月7日

会派名	民友
報告者氏名	相澤宗一、佐藤和典、近藤由香里
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 (<input type="checkbox"/> 行政視察) <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	(1) 福島第一原子力発電所 (2) 福島県東日本大震災・原子力災害 伝承館
日時	令和2年12月3日(木) (1) 9:00~12:00 (2) 14:00~15:00
場所 (会場)	福島県双葉郡 (1) 大熊町 (2) 双葉町
調査項目等	(1) 処理水の性質および処分方法について (2) 複合災害の記録や教訓について
概要	<p>(1) 福島第一発電所 処理水の性質および処分方法について</p> <p>対応者 (東京電力ホールディングス株式会社)</p> <p>◆福島第一原子力発電所長 XXXXXXXXXX 氏</p> <p>◆福島第一廃炉推進カンパニー視察コミュニケーショングループ XXXXXXXXXX 氏</p> <p>廃炉資料館 (事前説明)</p> <p>①シアター上映 (地震発生から原子力事故とその対応) ②処理水の説明</p> <p>新事務本館会議室 (視察概要説明)</p> <p>① 1~4号機の状況 ② 港湾内外の放射性物質濃度の変化 ③ 汚染水と原子炉循環冷却の概念図 ④ 「汚染水対策」の3つの基本方針 ⑤ 重層的な汚染水対策に伴う汚染水発生量の低減 ⑥ 労働環境の改善 ⑦ 中長期ロードマップ改訂・中長期実行プランの概要</p> <p>福島第一原子力発電所・構内視察</p> <p>①既設多核種除去設備 (既設ALPS) ②増設多核種除去設備 (増設ALPS) ③1~4号機原子炉建屋外観俯瞰エリア 【*バスから降車】 ④地下水バイパス設備 ⑤サブドレン浄化設備 ⑥海側設備 ⑦6号機非常用ディーゼル発電機 ⑧雑固体廃棄物焼却設備 ⑨固体廃棄物貯蔵棟 (第9棟) ⑩乾式キャスク仮保管設備 ⑪免震重要棟 ⑫高性能多核種除去 (高性能ALPS) 設備 ⑬ALPS 処理水サンプル</p> <p>汚染水処理について</p> <p>福島第一発電所の汚染水 (燃料デブリの冷却水や発電所に入り込んだ地下水・雨水等、大量の放射性物質を含む水) は各種装置により浄化され、処理水としてタンクに保管されている。セシウム吸着装置→淡水化装置→多核種除去設備を経て、大部分の放射性物質は除去されるがトリチウムだけは残る。</p> <p>トリチウムは水と結びつき自然界に広く存在する放射性物質であり、体内に入っても水と同様に排出され、濃度が低ければ人体への影響は低い。</p>





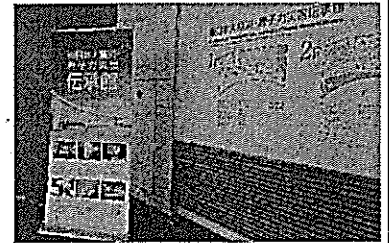
トリチウム水の処理方法は国により水蒸気放出と海洋放出が検討され、特に海洋放出は実績がある確実な方法だが、地元の双葉町・富岡町以外の自治体は風評被害を恐れ「サイト内に留め置くべき」との姿勢が強い。

サイト内の保管容量は 2022 年に上限に達することから、風評被害の払拭とあわせて処理方法への理解を得ることが課題である。

〔2〕福島県東日本大震災・原子力災害 伝承館

今年 9 月に開館した博物館・情報発信施設。東日本大震災と津波に伴う原子力災害を後世に伝えることを目的とし、資料や映像証言などを以下のテーマ別に展示。

- ①プロローグ（導入シアター）
- ②災害の始まり
- ③原子力発電所事故直後の対応
- ④県民の想い
- ⑤長期化する原子力災害の影響
- ⑥復興への挑戦



所 感 等

【相澤宗一】

今回の視察は、現在国家的課題である福島第一原子力発電所における処理水の性質とその扱いについて知見を得ることを目的に行った。

現在も国内外の原子力施設からは例外なくトリチウムを放出しており、このトリチウムに対する誤解は、すべての原子力発電所にも関係してくる懸念があるため、それを払拭したいと考えた。

普通の水と挙動が変わらず、人体への影響はないが、風評という形で福島の復興を妨げてしまう心配がある。

国による基準やそれよりさらに厳しい基準を設け管理していることを踏まえ、地域の皆様には安心してもらえるには、我々伝える側がしっかりとした知識、正しい情報の提供に努める必要がある。

【佐藤和典】

福島第一原発事故の検証や対策、及び福島県内の復興等を調査・研究し知見を深めることが、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働や柏崎市の原子力行政を考える際に重要と捉えており、会派として 1 年に一回以上は何らかの形で福島県を訪問することにしている。

福島第一原発の視察は昨年が続いて 1 年振りとなるが、今回は入れなかった新事務本館を視察することが出来、作業者の労働環境についても確認できた。

事故当時敷地内は放射線量も高く、100%防護服着用での作業（視察も）であったが、年々敷地内の除染や舗装等が進み、現在敷地内の 96%のエリアで一般服での作業が可能となっている。

今回の視察テーマである「処理水の処分方法」については、サンプルや現地を見ながら説明を受け、東電 HD や国の考えていることが理解できたが、風評被害につながっては絶対にいけない。

【近藤由香里】

約 1 年ぶりの福島第一原子力発電所視察であったが、前回と比べてかなり作業が進んでいると感じた。また発電所構内の 96%が一般作業服エリアとなり、1～4号機原子炉建屋外観俯瞰エリアではバスから降車することができた。

処理水については浄化方法について説明を受け、また実際に浄化装置や透明な処理水サンプル(容器入り)を目視し、確実に安全性が高まっていることが理解できた。

トリチウム水はすでに国内外の原子力施設から海洋放出されている。風評被害によって廃炉作業が滞ることはあってはならないと思う。福島復興のためにも処理水への理解促進を図りたい。